

多様性の海へ～マリン・エコロジーへの招待～

生物学、海洋生態学

南三陸町 自然環境活用センター

会期：2008年8月1日（金）11：00～8月3日（日）14：00 2泊3日



生命誕生の舞台といわれ、多様な生物が生息する海洋。水中マスクをつけて海にわけ入れれば、私達は「もう一つの地球」の姿を垣間見ることが出来ます。

南三陸・志津川湾をフィールドに、スノーケリングや電子顕微鏡実習、動物行動学実習などを通じて、様々な視点からそこに棲む生物の生き様や環境との関わりについて学びます。また、本講座では、様々な分野で活躍する研究者や専門家と直接交流することが出来る点も好評です。将来、生物学、生態学、水産学、環境科学などの分野に進みたい方や、環境教育などに関わる仕事を考えている方にお勧めの講座です。



会場

南三陸町 自然環境活用センター
宮城県本吉郡南三陸町戸倉字坂本40
(JR[仙台駅]より約2時間)
JR気仙沼線[陸前戸倉駅]下車、車約10分)
宿泊場所：民宿神割荘(予定)

募集人数

15名

キャンプの実習内容(予定)

南三陸では、自治体が運営するユニークな研究・教育施設「自然環境活用センター」で海洋生態学を中心とした研究と教育活動を行っています。高校生向けの講座としては、これまでに7年の実績があります。この施設を拠点として、以下のような講義・実習を行います。

- (1) 形態学・解剖学実習
 - ・船で湾内の生物を採集
 - ・外部形態の観察とスケッチ
 - ・魚とイカの解剖、内部構造観察
 - ・イカの色素胞の観察
- (2) 走査型電子顕微鏡実習
 - ・イカの歯舌の観察
- (3) スノーケリング自然観察
 - ・ウェットスーツ、3点セットを着用した安全なスノーケリング法の習得
 - ・スノーケリング自然観察
- (4) 動物行動学実習
 - ・ヒメイカの摂食行動観察
 - ・ヒメイカの最適摂餌戦略実験
- (5) 生理生態学実習
 - ・アサリの摂食速度の測定
 - ・アサリの生息における最適水温の考察
- (6) 講義
 - ・外部講師による研究紹介
 - ・「科学的である」とはどういうことか?

スケジュール(予定)

1日目 8月1日(金)

11:00 JR[古川駅]集合後、送迎バスで会場へ
13:00～13:20 開講式/オリエンテーション
13:20～14:00 講義(志津川湾の生物と環境)
14:00～15:00 乗船、生物採集
15:00～17:00 魚・イカの解剖実習
17:00～18:30 電子顕微鏡実習
・スノーケリング器材合わせ
18:30～20:00 宿へ移動・夕食
20:00～21:00 講義(動物行動学)

2日目 8月2日(土)

8:30～9:00 講義(藻場生態系)
9:00～11:00 スノーケリング自然観察
11:00～12:30 器材後片付け・着替え
12:30～13:30 昼食
13:30～18:30 動物行動学実習
18:30～20:00 宿へ移動・夕食
20:00～21:00 結果発表
21:00～22:00 特別講義(外部講師)

3日目 8月3日(日)

8:00～10:30 生理生態学実習
10:30～12:30 結果のまとめ・結果発表
12:30～13:20 昼食
13:20～13:40 閉講式
13:40～14:00 JR[陸前戸倉駅]まで送迎、解散
(内容については、天候等の理由により当日変更する場合があります)

プログラム関連図書、Webサイトの紹介

参考図書：
「動物の行動と生態」 著者：長谷川眞理子
出版社：放送大学教材(3,150円)
「海を学ぼう -身近な実験と観察-」
著者：日本海洋学会「海を学ぼう」編集委員会編
出版社：東北大学出版会(1,575円)

自然環境活用センター
URL：<http://www.sznature.jp>